

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期会計期間末における連結ベースの総資産額は、前年度末比8兆2,497億円増加し131兆4,092億円となりました。また、純資産額は前年度末比1,978億円増加の7兆1,986億円となりました。そのうち株主資本は中間純利益の計上等により、前年度末比3,374億円増加し4兆9,821億円となっております。

主要な勘定残高としましては、預金は、国内では増加したものの、円高による海外預金の円換算額の減少を主因に、前年度末比5,517億円減少し78兆969億円となりました。貸出金は、三井住友銀行単体の国内での増加を主因に、前年度末比8,316億円増加し63兆5,327億円となりました。

また、連結ベースの金融再生法に基づく開示債権の残高は、前年度末比359億円増加の1兆6,078億円となりました。不良債権比率は、2.25%と引続き低い水準を維持しております。